

特別支援教室のお便り

11月号

杉並区立高井戸第四小学校
特別支援教室拠点校

たかし教室直通03-5336-9522

いつまでも残暑が続いていましたが、ようやく秋の気配が濃くなってきました。各校では、運動会、学芸会、音楽会、移動教室などいろいろな行事が行われています。「楽しかった」「うまくいった」「頑張った」などの他、「大変だった」「嫌だった」「我慢した」「つらかったけど、乗り越えた」「何とかやり過ごした」など、子供たちは一人一人様々な思いや感じ方をしているでしょう。そのことを、私たち大人に話すこともあります。この一つ一つの思い、感じ方、全てを否定することなく聞いてあげてください。「共感」が子供たちのコミュニケーションへの意欲や力を伸ばしていってくれますよ。



「スピーチ」の時間

高四小エリア特別支援教室では、グループ学習「みんなの時間」のときに「スピーチ」の時間を設けています。子供たちが一人一人、自分が楽しかったこと、楽しみにしていること、はまっているもの、習い事のこと、気になっていることなど、自分のことについてみんなの前でお話をして発表するものです。

そのスピーチに対して、聞いている人たちから質問を受け、その受け答えをしていきます。

スピーチは、教室で扱う場合は一般に「伝えたいことをわかりやすく組み立てて話す」ことが大きなねらいとなり、話し方のパターン「話型」を身に付けることも重要視されます。高四小エリア特別支援教室では、このようなスキルの学習への取り組み以上に、

自分のことを表現する → そのことに反応したり受け止めたりしてくれる人がいる

ことで、

コミュニケーションへの意欲や楽しさ

自分を受け入れてくれることでの自己肯定感の育ち

ということをねらい、大切にしています。

子供は、失敗経験や叱られ経験があまりに多すぎると、コミュニケーションに対して消極的になったり、意欲を失ったりしやすくなります。だからこそ、子供たちにとって、自分が表現したことについて、「受け入れられる」「認められる」経験を大切にしています。

子供たちから「誰かに伝えたい！」という気持ちを引き出しながら、子供たちのコミュニケーションへの指導や支援にあたっています。

日曜日に
わたしは、
...



予告 高四小エリア 3 学期保護者研修会は、令和7年1月14日（火）午前10時より 高井戸第四小学校にて予定されています。内容など詳細は、次号「特別支援教室のお便り 12月号」でお知らせいたします。

（裏面へ）

◎小集団学習「みんなの時間」

「観察力・推理力を養うワードウルフ」

- ・周囲の状況を見てコミュニケーションをとることができる。
- ・さまざまな言葉を使って説明する。
- ・友達と活動を楽しむことができる。

「友達とのつながりを高めながら、聞く力、話す力を高める活動」(ワーキングメモリーの活用)

- ・相手の言葉や状況に応じて、場に合う言葉を表現しようとするすることができる。
- ・友達とのつながりを楽しみながら、言葉のやり取りのある活動に取り組むことができる。
- ・ルールを理解し守りながら、友達の関わりに参加することができる。

「カルテット」(四枚のカードをそろえよう)

- ・相手の反応や得た情報から有効な質問を考えることができる。
- ・複数の情報から推理することができる。
- ・ルールを守り、友達の関わりを楽しむことができる。



「紙コップを使って活動しよう」

- ・注意力、集中力を身に付けることができる。
- ・友達と協力し、ルールを守って活動することができる。
- ・勝敗を受け止め、気持ちを切り替えることができる。

◎個別学習「じぶんの時間」 目標や活動の内容、その他